

第 1 章 浴風会事業報告（概要）

令和 2 年度から 6 年度を期間として策定された「浴風会中期事業計画」の最終年にあたり、計画の達成状況を事業毎に検証し、残されている課題に取り組んだ。

利用者の新型コロナウイルス感染状況は、春季 4 月、5 月と冬季 1 月～3 月に集団感染が発生し、また、インフルエンザも流行するなどにより、施設利用者数や入院患者数に影響を及ぼした。また、燃料費や食糧費を初めとする物価高や 6 年度診療報酬改定による各種加算の廃止・見直しの影響で、財政的に厳しい状況になった。

一方、令和 7 年 1 月に創立 100 周年を迎え、新たなスタートラインとして「第 2 期中期事業計画」を同年 3 月に策定し、これまで築いてきた経験や知識を活かし、今後増加が見込まれる一人暮らし高齢者世帯等に対する在宅支援サービスの充実を重点に、次の 100 年に向けた取り組みを実施することとした。

第 1 着実な事業実施のための経営基盤づくり

財政の健全化に向け、各事業部門においては計画利用率の達成や経費節減等に向けて努力し、また、コロナ禍の中で懸命な取り組みを行った結果、概ね収支バランスがとれた運営がなされた。しかしながら、病院及び老健くぬぎにおいては、診療報酬改正や利用率が伸び悩んだほか、物価高騰、処遇改善費用の増加等の影響で、財政的に厳しい状況が続いた。

1 病院及び老健くぬぎの経営基盤の安定化

(1) 病 院

病床数 199 床体制での安定的な経営改善に向け、鋭意取り組んだところであるが、令和 6 年度診療報酬改定やコロナ関連の特例措置の廃止などの影響により、年間収支差はマイナスとなった。

(2) 老健くぬぎ

入所利用率の向上による経営改善に努めたが、上半期のコロナ集団感染の発生による利用率の低調が影響して、利用率は予算目標を下回った。また、通所リハビリテーションについても利用率が伸び悩んだため施設財政が極めて悪化し、本部会計より 3 千万円の繰入れを行った。

2 法人機能の充実

社会福祉法人制度改革を受けて、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、地域公益事業の積極的な展開等に取り組んだ。

(1) 適切な事業運営

経営企画会議、幹部連絡会議、部課長連絡会議等の諸会議を通じて、経営方針等に関する意思疎通を図った。

また、事業本部（保健衛生業務調整、栄養業務調整、相談業務調整、リハビリテーション業務調整）の取組みにより、職種別に当該業務に関する連絡調整を図り、業務の円滑化、リスク管理に努めるなどして、現場第一線の業務向上に努めた。

(2) 広報活動・情報公開の推進

ホームページの活用を通じ、各事業の活動状況や事業報告、財務諸表等の情報を迅速、かつ適切に発信することができた。併せて、浴風会誌や各施設・病院が発行する広報誌を通じ、広報・情報公開の徹底を図った。

(3) 創立 100 周年記念事業に向けた取組み

創立 100 周年記念事業の実施に向け設置した「記念事業企画委員会」においては、令和 7 年 4 月の記念式典や記念誌の発行、同年 10 月実施予定の記念フェスタ事業などの実施方法について、検討を進めた。

3 認知症介護の研究・研修等の充実

認知症介護研究・研修東京センターにおいては、令和 6 年 1 月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、「認知症施策推進基本計画」が閣議決定されたことを踏まえ、認知症諸施策の推進に努めた。

研究・開発事業では、認知症ケアの質の向上に資する研究及び共生社会の実現を推進する研究の 2 領域に焦点をあて、11 テーマの研究を行った。

研修事業では、認知症介護指導者養成研修を 3 回、同フォローアップ研修を 1 回実施したほか、認知症地域支援推進員の新任者研修を 7 回、同現任者研修を 7 回実施した。

また、病院の認知症疾患医療センターにおいては、東京都指定の「かかりつけ医認知症研修」及び「看護師認知症対応力向上研修」をオンデマンド形式とリモート形式で開催したほか、認知症治療薬（レケンピ）の投与に向けた検査及び治療が開始された。

第2 利用者中心のサービスの提供

新型コロナウイルス感染症予防のため、利用者に対する手洗い、手指消毒の励行、外出の自粛、マスクの着用等を全施設において徹底した。

介護保険事業においては、虐待未然防止の徹底、サービスマナーの向上、リスクマネジメントの徹底、看取り介護の推進と医療連携ケアの向上、口腔機能維持・経口摂取維持の推進等を図るとともに、6年度から新たに「見守りカメラ」を設置し、利用者の転倒原因を明確にして予防策の検討に役立てることとした。また、面会については、予約なしでの面会や人数制限を解除して行った。

老人福祉事業においては、年1回利用者と面談の上、個別支援サービス計画の定期的な見直しを行った。また、福祉3施設間の交流クラブ活動として、陶芸クラブ、大正琴クラブ及び和太鼓クラブを実施した。

病院事業においては、医療安全、感染症対策、防災対策等の安全管理を適確に推進するとともに、近隣診療機関との情報連携に努めた。

このほか、利用者・患者等からのサービスに係る苦情については、各々事業部門の苦情解決責任者が迅速かつ適切な対応に努めた。

第3 専門職の連携を活かした職場づくり

1 人材確保の実施

社会福祉士、介護福祉士等の養成を行う全国の大学、専門学校、高校に対して、パンフレット、求人票等を送付するとともに、実習生受入実績校へは訪問して学生紹介の依頼を行った。また、求人チラシを作成し、近隣への戸別配布及び新聞折り込み配布（計35,000部）を行った。更に、ホームページ求人サイトからの採用募集や人材派遣会社の活用など、継続的に採用活動を実施した。

2 働き方改革への的確な対応

優れた人材の確保と勤労意欲の向上を目的として行う登用試験（主として介護職契約職員の正規職員化）について、必要な免許・資格を所持している者を対象に、2回実施した。

また、職員の健康保持のため、労働時間管理の徹底及び有給休暇取得の促進を行うよう、幹部連絡会議等を通じ周知徹底を図った。

業務の効率化としては、介護保険事業においてインカムを活用した情報の共有化とタブレット端末を活用した記録の効率化を進めた。

3 実習生の受入れ促進及び研修制度の充実

大学、専門学校等から依頼された実習生の受入れについては、3特養・在宅サービスセンターで実員386名、病院では実員21名を受け入れ、それぞれの職種に応じた実習等による指導を行った。

職員の研修については、全職種を対象とした職種横断階層別「悉皆研修」(ステップ1～5)を全課程実施した。また、「全体研修」では、「認知症基本法と認知症施策推進計画のポイント」を題材に、認知症介護研究・研修東京センター長を講師として実施した。(116名受講)

また、各施設で取り組んでいる業務改善・サービス向上を目指す研究成果を発表する「職員実践研究発表会」を令和6年4月に開催した。(演目7題)

4 障害者雇用、外国人雇用の推進

障害者雇用については、幹部連絡会議等においてその趣旨及び浴風会の現状を説明し、法定雇用率の達成に努めた。その結果、今年度は法定雇用率(2.5%)を上回る2.9%という結果となった。

外国人雇用については、関係団体とも調整して進めた結果、7年4月1日現在ミャンマー連邦共和国より25名、ベトナム社会主義共和国より6名、その他4か国より8名の計39名を特定技能1号実習生として受入れ、介護老人福祉施設及び老人保健施設で実習勤務を行っている。

第4 地域との協働と社会貢献

地域貢献活動については、浴風会の各事業部門の経験や資源を活かし、地域とのネットワークなどを通じて、様々な行事やイベントを実施してきたところである。

近年はコロナ禍の影響により、活動を自粛せざるを得ない状況が続いたが、今年度は多くの活動を実施することができた。

具体的な事業としては、①地域住民対象のミニ講座「よくふう学ぼう会」、②コミュニティホールの地域開放(再開)、③地元小中学校の福祉教育への講師派遣や花壇づくりの交流などを行った。また、10月に実施した「浴風会つながるフェスタ」では、移動動物園の開催など新たな取組みを試みた結果、約800人もの参加者

が来場し、盛大に催すことができた。

更に、5月には高井戸警察署の依頼を受けて「特殊詐欺被害防止文化祭 in 浴風会」を地域の方々も参加して開催した。

第5 災害対策の推進

今年度の総合防災訓練では、近隣町内会との合同で「かまど着火確認訓練」を実施するなど工夫を凝らした訓練を行った。また、病院では、医療救護所としての災害訓練を実施するとともに、杉並区西部地域災害医療連携会議、杉並区災害医療運営連絡協議会へ参加し、区内関係機関との情報共有を図った。

更に、各施設においては、災害時の職員確保策に着目したBCP（事業継続計画）の見直しを行った。

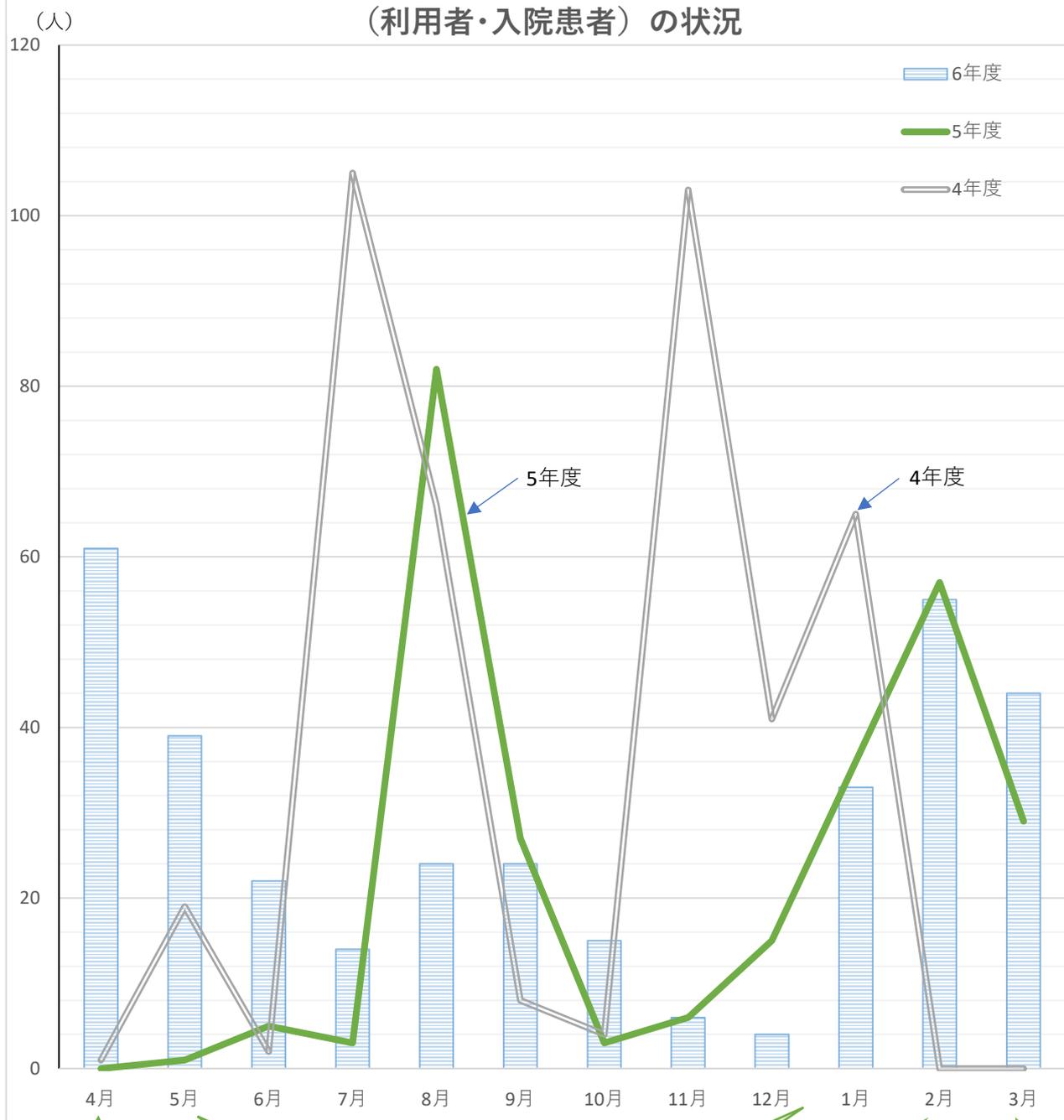
一方、令和6年1月に発生した能登半島地震の被災地支援として、石川県下の介護施設2か所へそれぞれ1名の職員を応援派遣した。

第6 第2期中期事業計画の策定

令和2年3月に当会として初めて策定された中期事業計画（令和2年度～6年度）の期間終了に伴い、新たに第2期中期事業計画（令和7年度～11年度）を策定し、浴風会がこれまで100年にわたって築いてきた経験や知識を活かした取組みを実施することとした。特に、認知症基本法の制定を踏まえ、認知症施策の新たな展開に向けた取組みや、在宅支援サービスの充実強化への対応策を盛り込んだ。

令和6年度新型コロナウイルス感染者

(利用者・入院患者) の状況



主な感染施設
南陽園
浴風園
老健くぬぎ

主な感染施設
第二南陽園

主な感染施設
第三南陽園
病院

主な感染施設
南陽園
第三南陽園

主な感染施設
第三南陽園
病院

(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度	61	39	22	14	24	24	15	6	4	33	55	44	341
5年度	0	1	5	3	82	27	3	6	15	36	57	29	264
4年度	1	19	2	105	66	8	4	103	41	65	0	0	414